

baudroie inc.

会社概要と成長戦略

株式会社ボードルア

証券コード：4413



会社概要

商 号

株式会社ボードルア

取 締 役

代表取締役社長	富永 重寛
代表取締役	藤井 和也
取締役	程島 義明
社外取締役	安藤 温
常勤監査役	竹内 靖浩
常勤監査役	岡本 俊夫
監査役	尾中 直也
監査役	西川 研一

本 社

東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー37階

第 二 オ フ ィ ス

東京都港区六本木7-3-12 六本木インターナショナルビル7階

第 三 オ フ ィ ス

東京都港区六本木3-10-9 榎川誠志堂ビル4階、6階

設 立

2007年4月

決 算 期

2月

社 員 数

752名

(正社員/契約社員含)*2022年5月現在

業 務 内 容

ITインフラストラクチャ事業

主 要 取 引 先

ソフトバンク株式会社
KDDI株式会社
NTTコミュニケーションズ株式会社
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社野村総合研究所
住信SBIネット銀行株式会社

有 資 格 者

CCNA: 694名
CCNP: 463名
*2022年5月現在

経営理念

ネットワークインフラ技術分野におけるフロントランナーとして、
弛まぬ技術革新を推し進め、急速に進化している情報化社会の発展に貢献する。

ミッション

新たなITサービスの誕生と成長をネットワークインフラの側面から支え、
社会の発展へ寄与する。

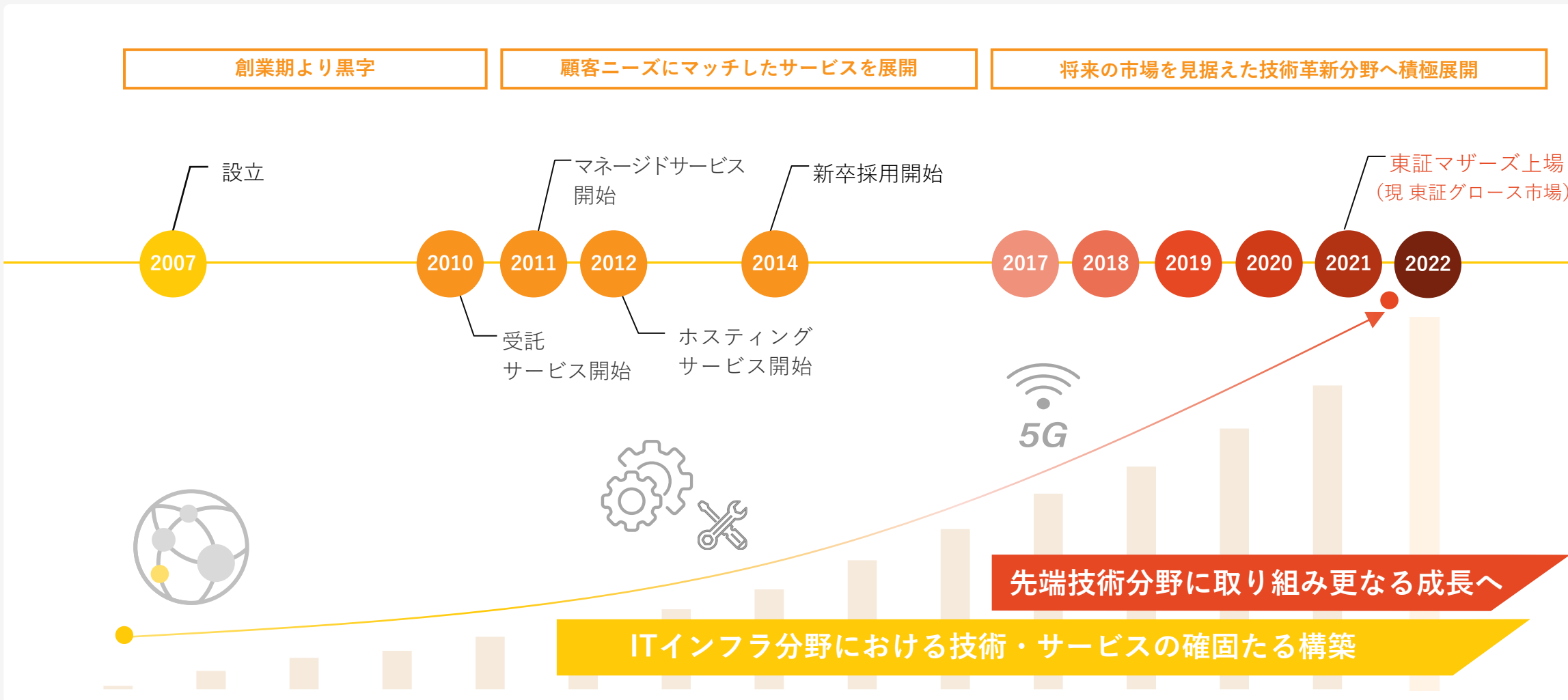
社名の由来

ボードルアは、フランス語で魚「アンコウ」。
「提灯アンコウ」は深海に棲み発光することから、ITを底から支えるインフラストラクチャ分野のガイド役になぞらえて、この名前を会社名にいたしました。



事業沿革

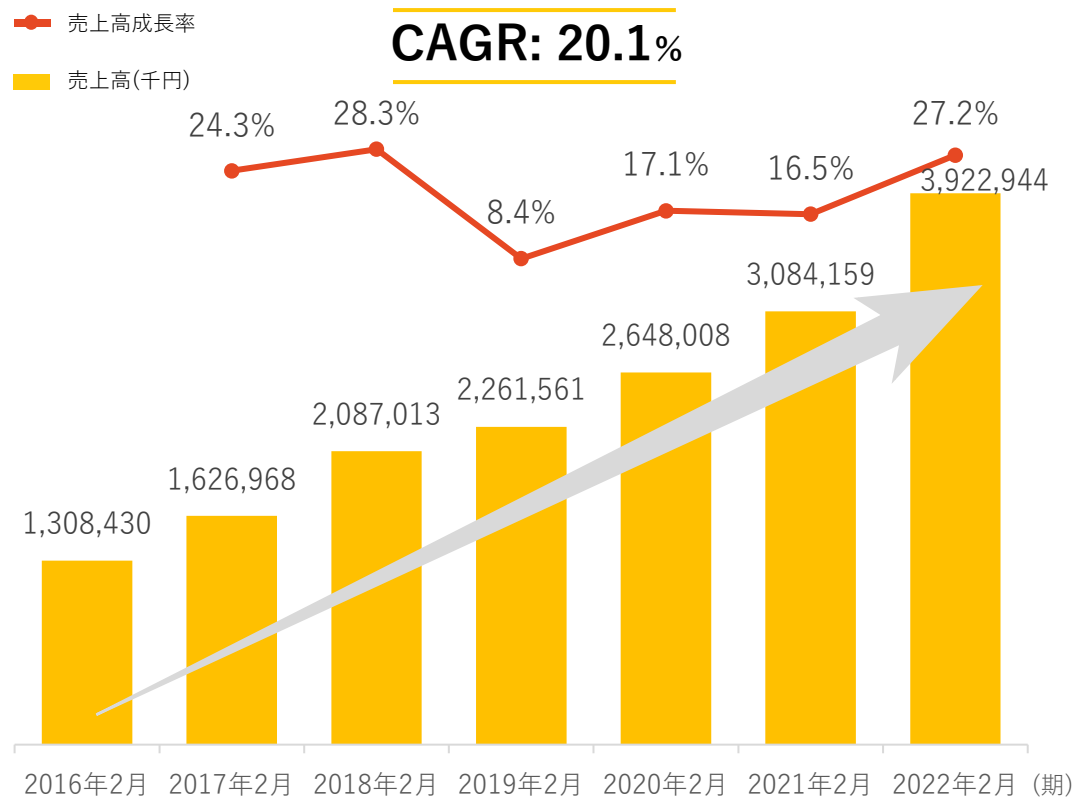
ネットワーク・インテグレーション事業を目的に創業



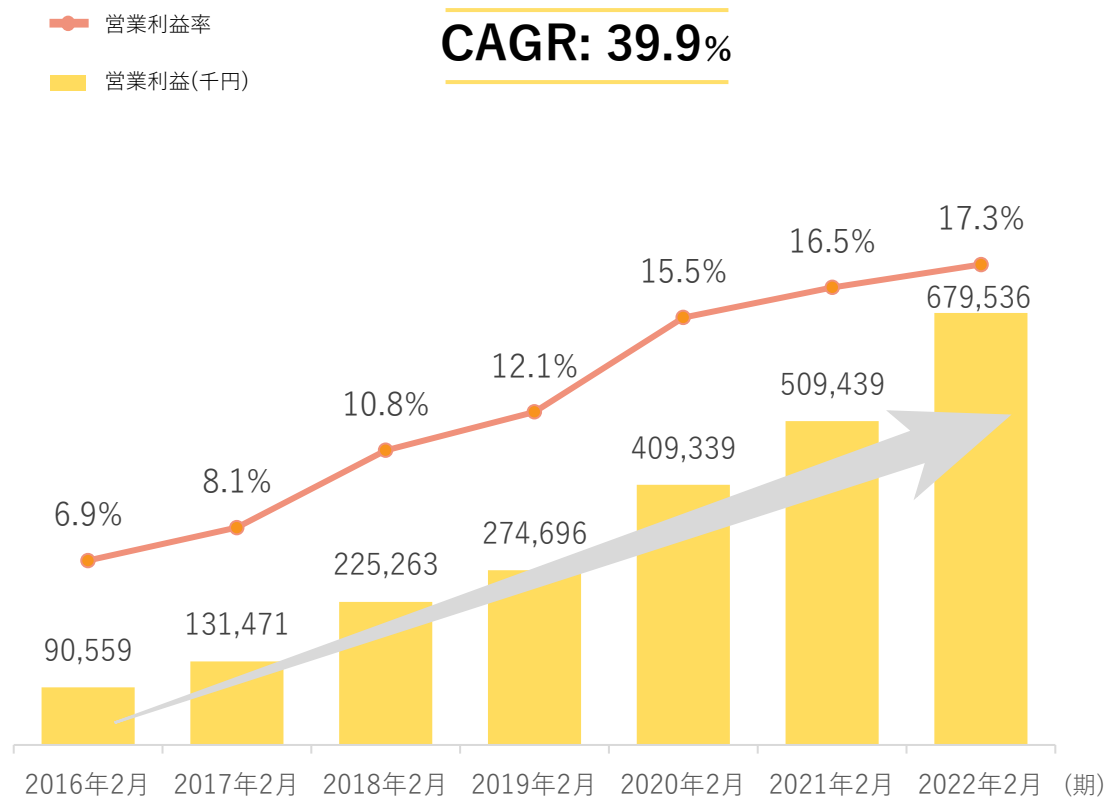
業績推移

✓ 2013年2月期より**10**期連続で増収増益

売上高および売上高成長率推移

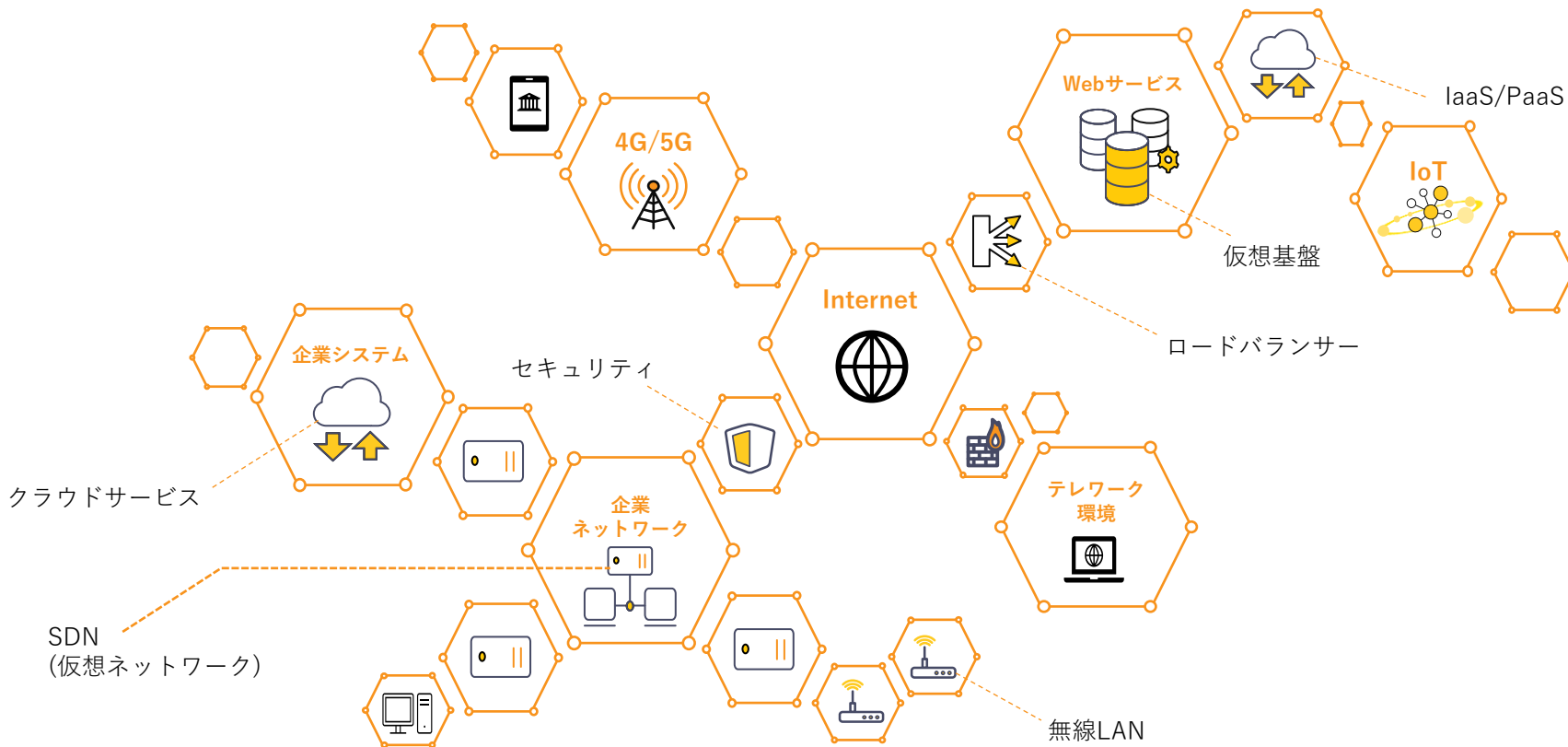


営業利益および営業利益率推移



事業概要/ITインフラストラクチャサービスとは

様々なアプリケーション・システムを利用するために、システムを動作させるサーバー、システムに接続するためのネットワーク、安全な通信・情報を守るためのセキュリティなど複雑なITインフラストラクチャを設計・構築することや、運用・保守を請け負うこと。これらが構成されITインフラストラクチャは今や生活インフラの一部となっている。



※クラウドサービス(IaaS/PaaS)：主にクラウドコンピューティングサービスを指す。

※SDN：ソフトウェアによって仮想的なネットワーク環境を作る技術。物理的な制約に縛られず、ネットワーク構成の柔軟な設定が可能。

※仮想基盤：1つの物理機器上で、複数のホスト・OSを動作させる仕組み。

※ロードバランサー：サーバを複数台で構成した場合に、端末からの通信をリソース毎に適切に振り分ける仕組み。

※セキュリティ：ファイアウォール、IPS/IDS、サンドボックス、Webフィルタリング、など。

ITインフラストラクチャサービスに特化した専門事業者

ITインフラストラクチャサービス市場の位置づけ

2021年における国内IT市場全体は19兆
そのうちITインフラストラクチャサービス市場は1.8兆円



ITインフラストラクチャ分野で成長が著しい技術領域



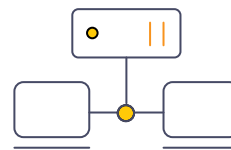
クラウド



セキュリティ



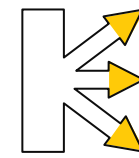
無線LAN



SDN
(Software-Defined Networking)



仮想基盤



ロードバランサー

事業概要/システム開発会社及びファシリティ工事業者との違い

当社はアプリやミドルウェア、通信工事を行わず、ITインフラ領域に専門特化

	システム開発会社	baudroie inc.	ファシリティ 工事業者
アプリ	アプリや ミドルウェアを 中心に幅広く サービス提供		
ミドルウェア			
ITインフラストラクチャ (ネットワーク/サーバー)	付随して担当	インフラ市場の パラダイムシフトで、 専門特化型サービスの 需要が増大	付随して担当
通信工事			機器設置及び 配線工事、基地局等

※アプリ(アプリケーション)：基幹業務システム(ERP)やWEBアプリ、スマートフォンアプリなどのユーザが操作する部分、グループウェア(Office365)、AI・機械学習、Java・C・Pythonなどのプログラミング言語を用いて開発を行う。
※ミドルウェア：アプリケーションとOSの間で動作するソフトウェア、Oracle Database/WebLogic・Apache HTTP Serverなど。
※通信工事：屋内のLAN配線や基地局設備の建設、機器設置等

2023年2月期 業績予想

2022年5月より連結決算を開始

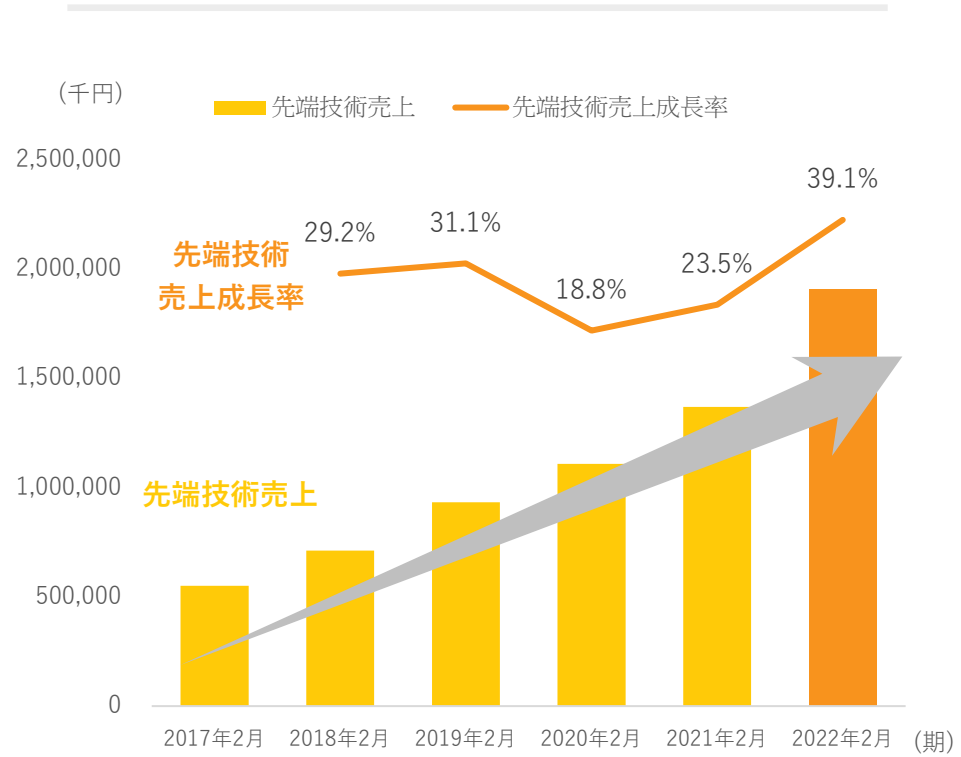
ハイレイヤーのITインフラストラクチャ技術を共有し事業規模拡大を図る

	2022年2月期 通期実績	2023年2月期 単体業績予想	2023年2月期 連結業績予想	前期比
売上高	3,922,944	4,680,000	5,100,000	130%
営業利益	679,536	855,000	875,000	129%
税引前純利益	737,078	910,000	935,000	127%
純利益	542,774	666,000	684,000	126%

成長戦略/先端技術分野への注力

従来型ITインフラのみならず、先端技術分野に重点を置き、積極受注を行う

先端技術サービスの売上推移



※ 先端技術分野：当社の中で専門性が高いと考える技術領域。ワイヤレス、ロードバランサー、SDN、クラウド、セキュリティ、サーバー仮想化のいずれかの技術領域に関わるもの。

高い成長性が期待される先端技術分野

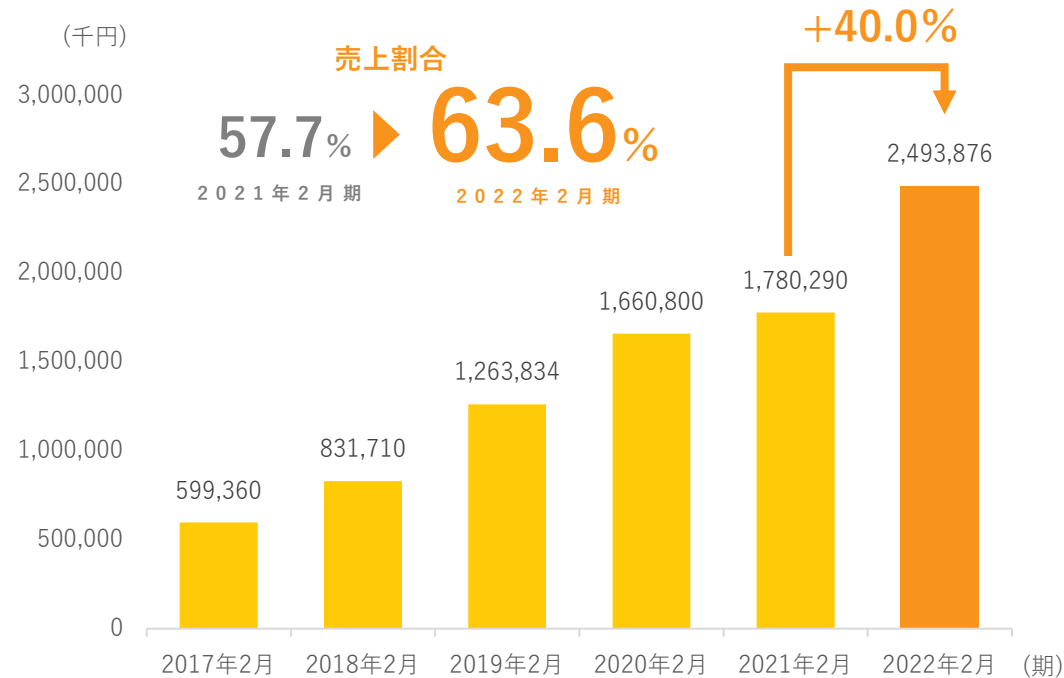
市場規模予想	市場のCAGR	当社の売上比率※6
ワイヤレス (グローバル市場)	1,306億米ドル (2026年)※1	15% 16% ↑5p
ロードバランサー (グローバル市場)	89億米ドル (2027年)※2	13% 19% ↑3p
ネットワーク仮想化 (国内市場)	468億円 (2026年)※3	3% 10% →0p
クラウド (国内市場)	3.8兆円 (2026年)※4	19% 27% ↑3p
セキュリティ (国内市場)	5,033億円 (2025年)※5	6% 12% →0p

※1 出典：BCC Research「世界のワイヤレス接続市場」(株式会社グローバルインフォメーション)
※2 出典：IMARC Services Private Limited「ロードバランサー(負荷分散装置)の世界市場：業界動向、シェア、規模、成長、機会、予測」(株式会社グローバルインフォメーション)
※3 出典：IDC Japanプレスリリース「国内ネットワーク仮想化／自動化市場およびNFV市場予測を発表」(2022年5月11日)
※4 出典：IDC Japanプレスリリース「国内パブリッククラウドサービス市場予測を発表」(2022年3月31日)
※5 出典：IDC Japanプレスリリース「2020年下半期 国内情報セキュリティ市場予測を発表」(2021年5月27日)
※6 「当社の売上比率」の増減は2021年2月期実績より比較、また、2つ以上の分野の重複売上も含む

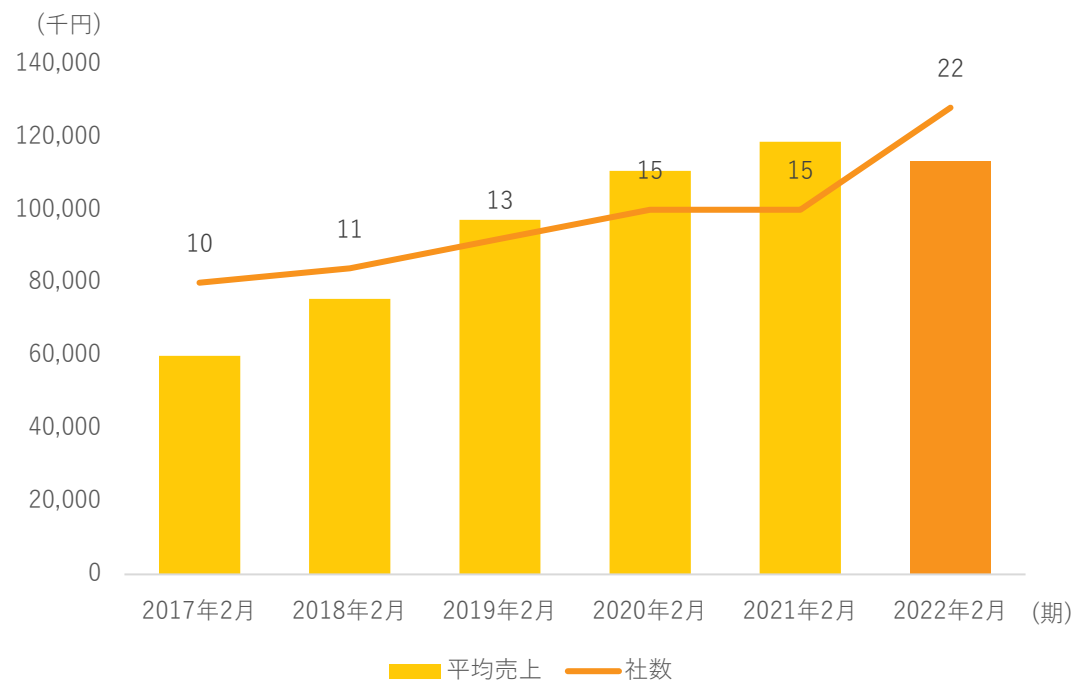
成長戦略/エンタープライズ顧客の拡大と深耕

実績を武器に大手事業者との取引を拡大させ、
案件規模の拡大とストックビジネスの積み上げを図る

エンタープライズ顧客合計売上



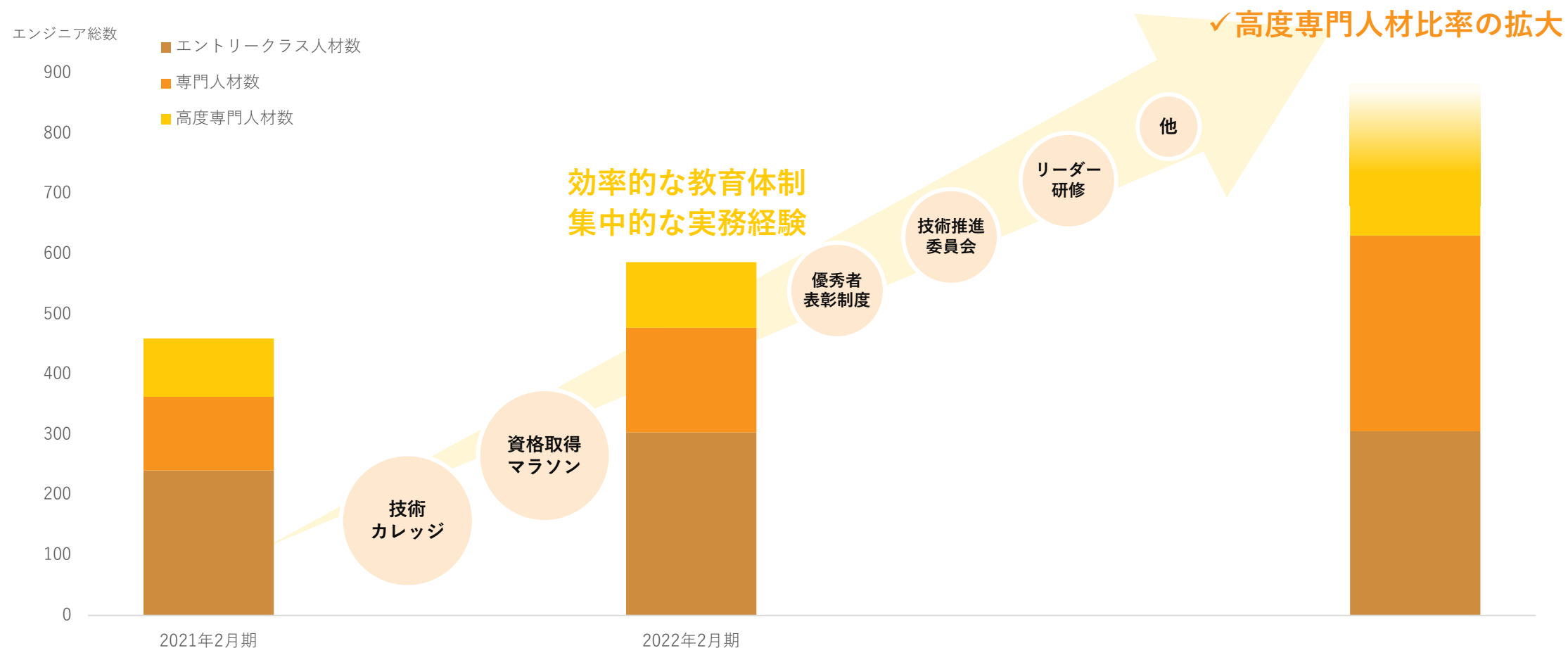
エンタープライズ顧客の1社あたり平均売上と社数



成長戦略/高度専門人材育成を通じた競争力強化

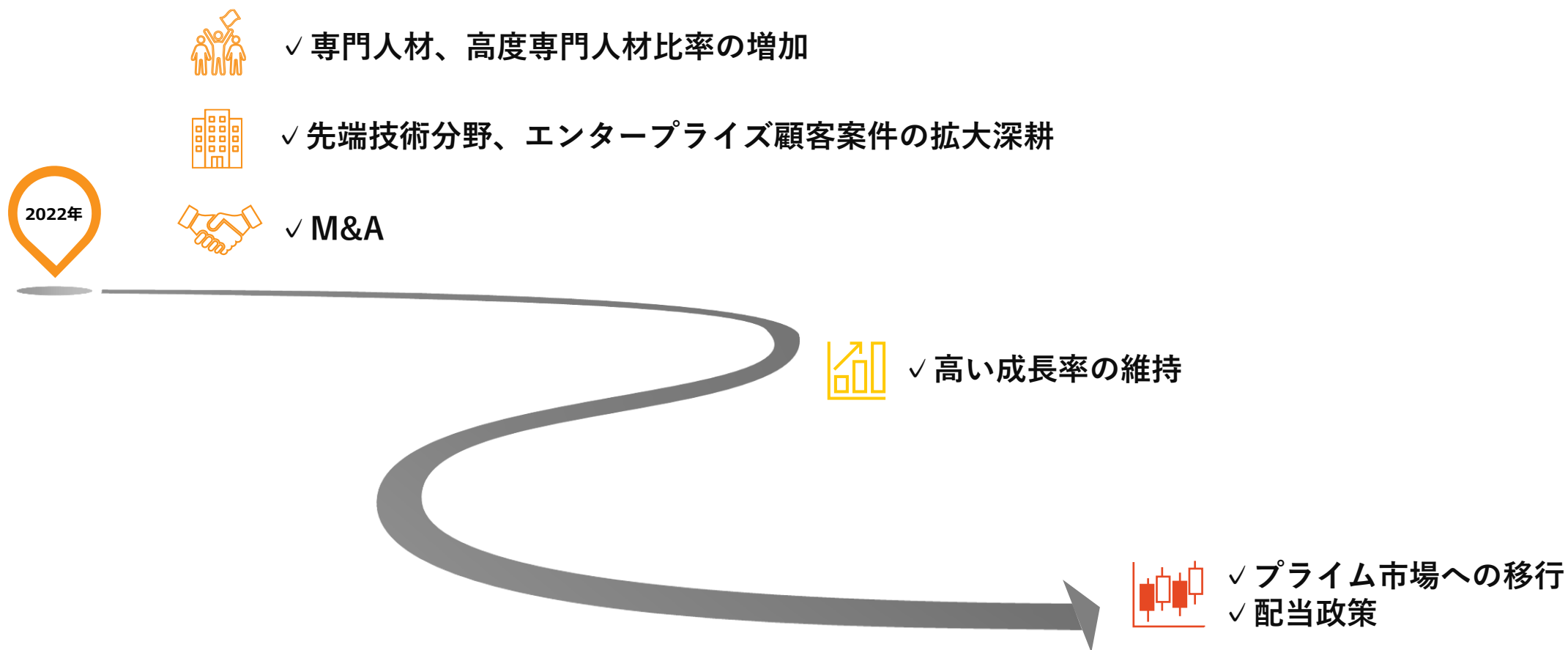
高度専門人材の育成カリキュラムを完備

多数在籍の成長余地の大きいエントリークラスの育成を継続し、競争力のあるサービスを一段と提供する



成長戦略のまとめ

プライム市場への移行に向けて事業拡大を図る



baudroie inc.